

論文概要の和文様式

雑誌におけるタイトル: Association between social capital and the prevalence of gestational diabetes mellitus: An interim report of the Japan Environment and Children's Study

和文タイトル: ソーシャルキャピタルと妊娠糖尿病の有病との関連

ユニットセンター(UC)等名: 宮城UC

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: Diabetes Research and Clinical Practice

年: 2016 月: 8 巻: 120 頁: 132-141

筆頭著者名: 水野 聖士

所属UC名: 宮城UC

目的:

ソーシャルキャピタルと妊娠糖尿病の関連を明らかにする

方法:

2011年6月以降回答・2011年12月までに出産した妊婦、全国10,228名を対象にソーシャルキャピタルと妊娠糖尿病(GDM)の関連を調査した。主成分分析(PCA)を用いて、(1)ソーシャルキャピタルに関する9つの質問項目すべて、(2)情動的支援および隣人への信頼、(3)一般的信頼のソーシャルキャピタルに関する3つの指標をつくり、それぞれの指標とGDMの関連を調査した。

結果:

10,228のうちGDMの有病者は204名(2.30%)だった。3つの指標のうち、(2)情動的支援および隣人への信頼は有意にGDMの有病と関連していた(AOR:0.651, 95% CI: 0.429-0.987)

考察:(研究の限界を含める)

ソーシャルキャピタルとGDMの有病の関連の調査は、世界で初めての報告である。情動的支援は過去に2型糖尿病との関連が報告され、慢性的なストレスなど多くの2型糖尿病に関する指標との関連が報告されていることから、同様のメカニズムでGDMと関連している可能性があること提示している。本研究の限界として、GDMの有病率が過去の報告と比較して低いことから、健康な集団を研究対象にしている、集団バイアスが除去できていない可能性がある。

結論:

ソーシャルキャピタルのうち、情動的支援(emotional support)と隣人への信頼(neighborhood trust)が、有意にGDMの有病率に関連があった。